

## 卯(ウサギ=右左岐)→左右に別れる年

今年の干支は卯(ウサギ)年です。ウサギ→右左岐→「左右に別れてゆく年」を暗示しています。時代はまさに光と闇に別れてゆくのせめぎ合いの真っ只中に直面しているのです。

今迄の三千年来の物・金・エゴ中心の体主霊従の時代から、人々が霊性に目覚め共存調和してゆく時が到来しているのです。それにより今迄隠されていた闇があばかれてゆくのです。

## 政治・経済・社会等の闇が明らかになってゆく

ほどなく今日の病んだ政治・経済・社会・マスメディアの実態が明らかになり清算されてゆく

でしょう。併せて世界を裏から牛耳っていたディープステート勢力が駆逐、崩壊するようになるのです。

今迄新聞やテレビ報道を全面的に信じてきた方々には、信じられない・・・、もっと言えばこのような話に陰謀論だと反発する方も多いと思います。が、マスメディアの報道の多くがウソであることが明るみになってゆくのです。コロナワクチン報道しかり・・・、米大統領選しかり・・・、中国関係の報道しかり・・・。そして国や民族を裏切っている近年の日本政府の動きしかり・・・。総て正邪善悪が明らかになってゆきます。

## 既成の権威がことごとく崩壊してゆきます

このような今までの常識や、テレビ・新聞では一切報じられて来なかった大変革を迎えて、多くの人達が戸惑い、進むべき方向性を見失ってゆくことが予想されます。比喩的に言えば夜から昼の時代に変る大変化が起きるからです。

夜の時代に人々を導いてきた宗教・哲学・科学、そしてそこから派生した諸々の生き方や主義・思想、国連や WHO・ユネスコ等の国際機関や国際経済組織、サミットや G8 などの各国首脳の会議などは機能しなくなり、崩壊してゆくことは間違いありません。

## 新しい時代の羅針盤こそ言葉＝言波の波動

霊性に目覚めてゆく人類は物心調和の理想の時代、宇宙の大いなるご意図に叶った光と愛の生き方へと転換してゆくのです。そのミロクの理想世界＝昼の時代を迎えるに際し、今まで信じ、縋り、頼りにしてきた宗教・哲学、様々な思想や主義等が崩れてゆき、人々は進路を見失うようになってゆく・・・。新しい道標となるものが求められてくるのです。

その新時代の羅針盤こそ、波動の哲理であり、なんとそれが言葉の波動に繋がっているのです。

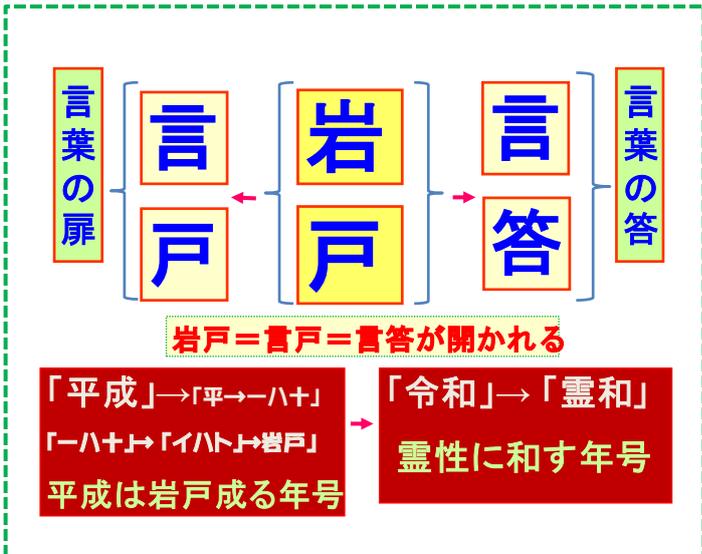
## 岩戸→言戸→言答が開かれ、新時代の哲理が・・・

夜から昼の時代の扉が開き、岩戸→言戸→言答が開かれ、日本語の一文字一文字の奥に秘められた真理が浮かび上がってくるのです。

それが言霊の国と言われてきた日本語文化の中から生み出され「光透波＝コトハ」であり「光」の「透」明な「波」動と書く哲理なのです。

もし、ご関心があり、これからの時代の哲理を探求されようと思う方は、本誌案内の各地で開催している光透波講座へ・・・。

文責 宿谷



「コロナ」大いなる宇宙の意図 宿谷直晃著 ヒカルランドから全国有名書店で好評発売中  
お近くの書店に無い時は書名・著書名でお取り寄せください。ネットでの購入も出来ます。

## 小田野先生の学びの真髄は「天の命の本質」

【前号から続く】小田野先生からの学びは、天の絶対のそのものの命の存在を、宇宙法則であるエネルギーの角度から導き出されたものでした。それは精神そのものの実詞(ミコトハ＝実光透波＝実言波＝命波)である命の存在の一音一音の音を通して、日本語に秘められた文字の意味やアルファベットの数を、日本語から意味を引き出し、命の存在を確認して養う事ができる字割の手法(天鏡図)によるものです。抽象の命の存在を導き出す手法でもあります。その結果、天そのものの命の實親様に何れ帰還出来ることを目的としていることを教えて頂きました。

## 神をもっと知りたいと、兄は霊覚者の教えに傾倒

小田野先生とお別れして今年で36年目に入ります。36年間をできるだけ駆け足で綴りたいと本稿の執筆で心掛けています。兄を筆頭に名古屋のメンバーはそれぞれ独り立ちできるように必要な場へ縁を頂き誘導されて魂の浄化の為の旅立ちとなりました。

50年前に兄である堀尾泉實氏は靈感状態に入った時「天と地に橋を架けよ、その橋は神々が降りられる橋を架けよ」と言われていたこともあり、兄は神々のことをもっと知りたいと兼ねてから思っていました。

岐阜市の霊覚者である桑原姫さんは命波講座を受けられたご縁で、神々のお話をよく話されていたことから、兄を筆頭に名古屋メンバーの縁のある人と兄は岐阜へ通い、必要な学び経験体験を重ね、結果的には修行に近い12年間経過しました。

2000年7月に桑原姫先生が逝去されたことから、残った仲間のメンバーと話し合い、兄だけが岐阜から名古屋に帰ってきました。近年になって整理して考えてみますと、岐阜の縁は通らざる得ない輪廻転生の因縁であった事かと思えます。

## 危篤の小田野先生と最後の別れ、ともども涙する

兄の靈感状態で言われた神々のことは、岐阜では得られないもっと深い意味だったことが漸く分かってきました。そして、2001年11月に入り、私たち兄妹は小田野先生の危篤の知らせを東京の清水さんから知らされました。

翌日、兄と私は田園調布のご自宅へ駆けつけることが出来ました。お別れして13年ぶりの再会でした。

ベットに寝られていた先生は目と口は効きませんでしたが、右手を上に向けて手を動かしていらっしゃいました。小田野先生のお顔を見るや否や13年間のブランクは一気に縮まり、相貌はお変わりなくむしろ若くなっていらっしゃいました。ご挨拶した時、先生も兄も私も涙を流し再会を有難く思いました。

その時の先生の感覚感情と耳は正常の様子でした。私君子が先生の下腹部あたりを御手当てし乍ら、かつて先生がお父様になさったような菩薩の手ではありませんが、少しでもお楽になられますようにと念じながらいたら、先生の右手が私の左手を素早く上に向けて手のひらに先生の指で「ありがとう」と書いて下さったのです。が、その時は気が付かず後になって気づきました。不思議ですが、気付いた時その時の出来事が再現でき、先生の手ぬくもり指の柔らかさを最期の貴重な贈り物として頂きました。今でもその時の場面を思い出すと再現できます。意識感覚に感謝しています。

## 先生自らが作られた戒名「天鏡院春誉早映晶光卒波児」

それから、2週間後の2001年11月24日に先生は逝去されました。私たちはお葬式に間に合いました。最愛なる姪御さんの慶子さんの毛筆で小田野早映先生の戒名を書かれた短冊と手帳に字割をされているお写真を頂きました。その戒名は「天鏡院春誉早映晶光卒波児」と小田野先生自らが生前お決めになられたものでした。

火葬場の休憩室で、先生から「貴女が最後の講義の方ですよ」と言われたという若い女性のピアニストの方とお話が出来ました。先生のお骨の頭部の頭蓋骨が大きく立派で白く光っていて「はい、この通り」と聴こえた気

がしました。生前6頭身とか5頭身とか福助の様とか言われるぐらい先生は頭部が大きく立派でした。きっと前頭葉を相当活用されていたのではないかと推測しています

### 再度、光透波の勉強会に努む兄に、原因不明の目の病症が

兄は再び2002年2月から2007年の1月までの4年間ワードサイエンスを復活しました。磯部賢一氏と林和也氏と合流して縁のある方に声をかけてセミナーを開催しておりました。兄は今まで習得したことをお伝えしていました。しかし、段々と兄の目が光に対して眩しくなり、講座が出来なくなり、中断せざる得なくなりました。

途中で、10回コースの光透波勉強会を磯部賢一講師に、堀尾の自宅の光透波サロンで1年間行って頂きました。

眼科で視野検査やMRI検査をしましたが、目の眩しさは原因不明で、兄は悶々として約7年間を自宅で閉じ籠っていました。岐阜から帰って来る前後から兄は2回目の靈感状態になっていました。ワードサイエンスの内容も純粋な小田野先生の命波理論だけではなく、岐阜での学びと兄の自我意識が入ったセミナーであったと思います。そんな中、母が「その目の眩しさは神様に叱られたのよ」と一喝、兄は神妙に受け止めたようでした。

### 母の逝去後、目は奇蹟的に回復、「命波学教本」を出版

その後、不思議と段々光の眩しさが有難く薄れ始め、サングラスと日よけ帽子を嵌めて外へ散歩が出来る様になりました。そして、兄は2度目の靈感状態を再び封印しました。改めて今までの自分の生き方を再編成し直しました。

その結果、命波理論が足りないのではなく、自分自身が命波理論を深く掘り下げていなかったことに漸く気が付かせて頂いたと生前申していました。

兄は2014年頃から改めて命波学の再編成に取り掛かり、命波学教本の原稿を書き始めていました。

そんな中、突然の2016年6月22日に母は安らかに最期を迎えることとなりました。それを境に兄の目の症状は良くなり、蛍光灯の光の下で兄はサングラスも帽子もなく喪主の挨拶が出来ました。母が見衛ってくださったからと思っています。

その年11月4日から堀尾泉實講師として第1回目の命波学基礎セミナーを開催することができました。結果、2018年6月22日に兄は46年の集大成の「命波学教本」をご縁のある皆様方のお力添えをいただき出版することが出来ました。

つづく 堀尾君子

## 7月 光透波セミナーのご案内

### ● 光の言波・真理教室 (第145回 光透波セミナー)

- 日 時 7月27日(木) PM 1:30~PM4:45
- 場 所 神明いきいきプラザ 集会室 B (4F) 東京都港区浜松町1-6-7
- 演 題 「想像と創造、姓名について」 JR浜松町(北口) 地下鉄大門(B1) 4分
- 講 師 宿 谷 直 晃 ● 参 加 費 3,000円

### ● Zoom入門講座

- 7月11日(火) PM 8:00~PM10:00 「⑩秘宝の伝授」
- 7月25日(火) PM 8:00~PM10:00 「①光透波の概要」

「命波学教本」堀尾泉實著 命波学=光透波理論習得の必読のテキストです。定価2500円

ご希望の方は、**実光透波研究会** 名古屋市名東区香南1-103-8-201 堀尾 君子

メールアドレス [s8910kimiko@yahoo.co.jp](mailto:s8910kimiko@yahoo.co.jp) 090-8499-5989まで

## ●名古屋 命波学講座

- 日 時 7月21日(金) PM 1:00~PM4:00 基礎講座 第2回
- 日 時 7月25日(火) PM 3:30~PM6:30 和やか会
- 日 時 7月26日(水) PM 1:00~PM4:00 基礎講座 第8回
- 日 時 7月31日(月) PM 1:00~PM4:00 基礎講座 第3回
- 場 所 實光透波スペース 名古屋市名東区香南1-103-8-201
- 講 師 堀尾君子 ●参加費 各3,000円

※ 命波学受講の日時調整可。お申し込み、問い合わせは堀尾へ 090-8499-5989

## ●名古屋 光透波塾

- 日 時 7月20日(木) AM 10:00~PM 0:00
- 演 題 基礎講座第2回 「生命のお話」 ●場 所 磯部宅 (名古屋市熱田区旗屋 2-16-4)
- 講 師 磯部賢一 ●参加費 各3,000円

## ●八事教室 光透波塾

- 日 時 7月26日(水) AM 11:00~PM 2:00
- 演 題 基礎講座第2回 「生命のお話」 ●場 所 昭和区八事 日赤駅 近く
- 講 師 磯部賢一 ●参加費 各3,000円

## ●熱田神宮参拝と光透波講座の集い

- 日 時 7月 12日(水) 15日(土) 22日(土) AM 10:00~PM 1:00
- 演 題 「神様と光透波のお話」
- 場 所 熱田神宮 (集合は神宮会館前)
- 講 師 磯部賢一 ●参加費 各3,000円

※ 以上、お申し込み、お問い合わせは磯部へ [isoiso837@gmail.com](mailto:isoiso837@gmail.com) 090-9199-0248

## ●Zoom 講座

- 7月 5日(水) AM10:00~PM 0:00 ●演 題 「哲学と光透波」
- 7月19日(水) AM10:00~PM 0:00 ●演 題 「日月神示と光透波」
- 講 師 磯部賢一 ●参加費 ドネーション

※ 以上のお申し込み、お問い合わせは磯部へ [isoiso837@gmail.com](mailto:isoiso837@gmail.com) 090-9199-0248

## ●第23回 明石日本語セミナー

- 日 時 7月23日(日) PM 2:00~PM 4:00
- 場 所 明石市立 勤労福祉会館
- 演 題 「ブラボー 日本語、五十音」 ●参加費 1800円
- 講 師 林和也 ※ 講座の申し込み先 090-8580-3776 (林まで)

### 光透波の会

- 實光透波研究会 名古屋市名東区香南1-103-8-201 堀尾君子  
メールアドレス [s8910kimiko@yahoo.co.jp](mailto:s8910kimiko@yahoo.co.jp) 090-8499-5989
- 光透波塾 名古屋市熱田区旗屋 2-16-4 磯部賢一  
メールアドレス [isobekk50@yahoo.co.jp](mailto:isobekk50@yahoo.co.jp) 090-9199-0248
- 光透波ワクワク塾 東京都品川区小山 6-19-5 宿谷直晃  
メールアドレス [syu98-8do8@mbr.nifty.com](mailto:syu98-8do8@mbr.nifty.com) 090-2447-2037
- 光透波・言霊セミナー 兵庫県播磨町西野添 2-5-12 林和也  
090-8580-3776

光透波のホームページ <http://kotohawanokai.web.fc2.com>